

1. 土木工事共通仕様書の主な改定内容

(1) 共通事項

- ① 法令等の年月日改定
 - ・法令・基準等の年月日を現時点での最新に改定。
- ② J I S の改定
 - ・ J I S の改定に伴い、記載内容を改定
- ③ 語句の統一及び表現の適正化等

(2) 第1編 共通編 第1章

- ① 1-1-2 準備期間
 - ・準備期間の定義を追加。
- ② 1-1-4 ワンデーレスポンス
 - ・ワンデーレスポンスの定義を追加。
- ③ 1-1-5 施工計画書
 - ・工事書類簡素化ガイドラインに基づき、記載する項目を修正。
「指定機械」「主要船舶・機械」「主要資材」の省略
受注者は維持工事等簡易な工事及び当初設計額400万円未満の工事において最低限記載が必要な事項を明示。
- ④ 1-1-6 コリنز (CORINS) への登録
 - ・コリنزの入力規定等に基づき改定
- ⑤ 1-1-10 工事の下請負
 - なお、下請契約を締結するときは、下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。
- ⑥ 1-1-11 施工体制台帳
 - ・監理技術者補佐の位置付けを追記。
- ⑦ 1-1-12 受発注者間の情報共有
 - ・三者検討会の位置付けを追記
- ⑧ 1-1-19 貸与機械の使用
 - ・貸与機械の使用の取り扱いについて、以下を追記
別に定める請負工事用建設機械無償貸付仕様書によらなければならない。
- ⑨ 1-1-21 建設副産物
 - ・「再生資源利用計画」「再生資源利用促進計画」を作成し公衆の見やすい場所に掲げなければならない。
 - ・建設発生土を搬出する場合は、土壌汚染対策法や盛土規制法等の法令等に基づき確認しなければならない。
 - ・確認結果は再生資源利用促進計画に添付

- ⑩ 1-1-26 施工管理
 - ・標示板の記載方法
 - ・受注者は、労働環境の改善に努めなければならない。
- ⑪ 1-1-27 工事情報共有化
 - ・情報共有システムの活用を追記
- ⑫ 1-1-28 不具合発生時の措置
 - ・受注者は、工事施工途中に工事目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、または、公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督員に直ちに通知しなければならない。
- ⑬ 1-1-30 週休二日の対応
 - ・週休二日の対応を追記
- ⑭ 1-1-32 工事中の安全確保
 - ・第3編から移動
 - ・「建設工事公衆災害防止対策要綱」（国土交通省、令和元年9月2日）
 - ・設計図書により建設機械が指定されている場合には、適合する機械を使用しなければならない。
 - ・架空線等上空施設の現地調査を行い、その調査結果を監督員へ報告しなければならない。
- ⑮ 1-1-37 特定調達品目
 - ・国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（令和3年5月改正 法律第36号）を追記
 - ・宮崎県グリーン購入基本方針を追記
- ⑯ 1-1-38 工事材料の使用
 - ・設計図書にて製品名を指定材料として明示しているものを除いて、すべて同等品以上のものを使用できる。
 - ・図面内に製品の形状・寸法等の詳細図が示されており、製品メーカーを特定できる場合においても、あくまで参考図扱いとする。
 - ・工事目的物にかかる工事材料（任意仮設を除く。）については、県産品の優先使用に努めることとし、「工事材料使用願」と品質規格証明書を工事の着手までに監督員に提出しなければならない。
- ⑰ 1-1-40 交通安全管理
 - ・第3編から移動
 - ・工事用道路の維持管理及び補修を行う。
 - ・指定された工事用道路の使用開始前に当該道路の維持管理、補修及び使用方法等を施工計画書に記載しなければならない。
- ⑱ 1-1-42 諸法令の遵守
 - ・法令・基準等の年月日を現時点での最新に改定。
- ⑲ 1-1-45 工事測量
 - ・第3編から移動
 - ・丁張、その他工事施工の基準となる仮設標識を、設置しなければならない。

⑳ 1-1-48 保険の付保及び事故の補償

- ・法定外の労災保険の取扱いを追記
- ・建設業退職金共済制度の取扱い（電子申請制度、掛金充当実績総括表）を追記

㉑ 1-1-52 石綿使用の有無

- ・石綿障害予防規則に基づく、石綿使用の有無の「事前調査」、「事前調査結果の報告」、「大気汚染防止法に基づく届け出」を追記

(3) 第1編 共通編 第2章 土工

① 2-4-1 伐開所根作業

- ・表2-3の見直し

(4) 第1編 共通編 第3章 無筋・鉄筋コンクリート

① 3-2-1 適用すべき諸基準

- ・適用すべき諸基準の追加

機械式鉄筋継手工法技術検討委員会 現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン（平成29年3月）

橋梁等のプレキャスト化及び標準化による生産性向上検討委員会コンクリート構造物における埋設型枠・プレハブ鉄筋に関するガイドライン（平成30年6月）

橋梁等のプレキャスト化及び標準化による生産性向上検討委員会コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン（平成30年6月）

道路プレキャストコンクリート工技術委員会ガイドライン検討小委員会プレキャストコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン（平成31年1月）

② 3-3-2 工場の選定

- ・配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場に宮崎県品質監査会議が策定した監査チェックリストに基づく監査に合格した工場を追記

③ 3-5-4 材料の計量及び練混ぜ

- ・JIS規定の見直しに伴う表記の見直し

④ 3-6-9 養生

- ・養生方法の追記。湿潤養生期間の目安の見直し。

⑤ 3-7-5 継手

- ・機械式鉄筋継手工法取扱いを追記

⑥ 3-9-2 施工

- ・打設時のコンクリート温度の上限の見直し

3.5℃→所定の品質を確保できる場合は3.8℃とし、それ以外は3.5℃とする。

⑦ 3-12-2 施工

- ・水中コンクリート施工の留意点を追記。

(5) 第2編 材料編 第2章 土木工事材料

① 2-3-3 アスファルト舗装用骨材

- ・表2-9の見直し 鉄鋼スラグの規格

② 2-6-1 一般事項

- ・混和材の保管期間が長期にわたると品質が変動する可能性があるので、長期間貯蔵した混和材は使用してはならない。

③ 2-12-1 道路標識

- ・表2-27の追記 封入レンズ型反射シートの反射性能
- ・表2-28の追記 カプセルレンズ型反射シートの反射性能

④ 2-13-3 吸い出し防止シート

- ・表2-29表題の追記 吸い出し防止シートの規格

⑤ 2-13-4 残存型枠

- ・表2-30表題の追記 残存型枠の規格

(6) 第3編 土木工事共通編 第1章 総則

① 1-1-6 工事完成図書の納品

- ・設計図書において地質調査の実施が明示された場合、「宮崎県電子納品ガイドライン【業務編】」に基づいて電子成果品を作成しなければならない。

(7) 第3編 土木工事共通編 第2章 一般施工

① 2-2-1 適用すべき諸基準

- ・適用すべき諸基準の追加
地盤工学会 地山補強土工法設計・施工マニュアル（平成23年8月）

② 2-3-2 材料

- ・環境条件が特に厳しい場合の防錆・防食効果が期待できる処理を施す条件を具体的に追記
- ・JIS H 8641（溶融亜鉛めっき）の基準改定に伴うめっき付着量の修正

③ 2-3-6 小型標識工

- ・印刷完了後の加工方法を追記

④ 2-3-15 PCホロースラブ製作工

- ・浮き上がり防止装置について、その内容を施工計画書に記載し、設置しなければならない。

⑤ 2-4-4 既製杭工

- ・半自動溶接作業を行う場合に、現場溶接の施工経験が6ヶ月以上の者に行わさせなければならない。を追記

⑥ 2-6-6 橋面防水工

- ・防水層の敷設、塗布等についてはがれや塗りむらなどが生じないように適切に管理することを明記

⑦ 2-6-7 アスファルト舗装工

- ・中温化技術により施工性を改善した混合物を使用する場合の取扱いを明記

⑧ 2-12-2 材料

- ・工場製作工において、やむを得ない理由によって塗料の使用期間が、6ヶ月を超えた場合の取扱いを追記

⑨ 2-12-3 予熱

- ・鋼種及び溶接方法によっては、鋼材のPCM値を低減すれば予熱温度を低減できることを追記

⑩ 2-17-3 樹木・芝生管理工

- ・「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」の改正について（厚生労働省 令和2年1月）によることを追記

(8) 第6編 河川編 第1章 築堤・護岸

① 1-12-2 境界工

- ・境界杭の具体的な設置方法を追記

(9) 第6編 河川編 第3章 樋門・樋管

① 3-8-4 境界工

- ・境界杭の具体的な設置方法を追記

(10) 第7編 河川海岸編 第1章 堤防・護岸

① 1-13-4 境界工

- ・境界杭の具体的な設置方法を追記

(11) 第8編 砂防編 第1章 砂防堰堤

① 1-8-4 コンクリート堰堤本體工

- ・砂防ソイルセメントの施工にあたって、設計図書において特に定めのない事項については、「砂防ソイルセメント施工便覧」（砂防・地すべり技術センター、平成28年9月）、「現位置攪拌混合固化工法（ISM工法）設計・施工マニュアル第1回改訂版」（先端建設技術センターISM工法研究会、平成19年3月）の規定による。

② 1-11-4 境界工

- ・境界杭の具体的な設置方法を追記

(12) 第9編 ダム編 第1章 コンクリートダム

① 1-4-5 材料の計量

- ・水及び混和剤溶液の材料の計量は、計量値の許容差内である場合には体積で計量してもよいものとする。

(13) 第10編 道路編 第2章 舗装

① 2-2-1 適用すべき諸基準

- ・適用すべき諸基準の追加

日本道路協会 舗装の長期保証制度に関するガイドブック（令和3年3月）

日本道路協会 舗装種別選定の手引き（令和3年12月）

② 2-9-2 材料

- ・アルミニウム合金材の溶接作業は（一社）軽金属溶接協会規格LWS P7903-1979「スポット溶接作業標準（アルミニウム及びアルミニウム合金）」（（一社）日本溶接協会規格WES7302と同一規格）を参考に行うことが望ましい。

③ 2-12-3 境界工

- ・境界杭の具体的な設置方法を追記

(14) 第10編 道路編 第4章 鋼橋上部

① 4-2-1 適用すべき諸基準

- ・適用すべき諸基準の追加

日本道路協会 道路橋伸縮装置便覧（昭和45年4月）

日本道路協会 小規模吊橋指針・同解説（昭和59年4月）

日本道路協会 道路橋ケーブル構造便覧（令和3年11月）

(15) 第10編 道路編 第5章 コンクリート橋上部

① 5-2-1 適用すべき諸基準

- ・適用すべき諸基準の追加

日本道路協会 道路橋伸縮装置便覧（昭和45年4月）

日本道路協会 小規模吊橋指針・同解説（昭和59年4月）

日本道路協会 道路橋ケーブル構造便覧（令和3年11月）

② 5-6-2 プレベーム桁製作工（現場）

- ・リリースを行うときの下フランジコンクリートの最大圧縮応力度を確認する際の圧縮強度を見直し

(16) 第10編 道路編 第6章 トンネル（NATM）

① 5-3-11 覆工コンクリート工

- ・トンネル覆工コンクリートの目地の形状は「三角形形状」を標準とする。

(17) 第10編 道路編 第7章 コンクリートシェッド

① 7-3-6 受台工

- ・鉄筋を露出した状態で工事を完了する場合には、防錆、防食、損傷等を受けないようにこれらを保護しなければならない。なお、施工方法に関しては監督員の承諾を得なければならない。

(18) 第10編 道路編 第7章 鋼製シェッド

① 8-5-6 受台工

- ・鉄筋を露出した状態で工事を完了する場合には、防錆、防食、損傷等を受けないようにこれらを保護しなければならない。なお、施工方法に関しては監督員の承諾を得なければならない。

(19) 第10編 道路編 第14章 道路維持

① 14-7-2 材料

- ・アルミニウム合金材の溶接作業は（一社）軽金属溶接協会規格LWS P7903-1979「スポット溶接作業標準（アルミニウム及びアルミニウム合金）」（（一社）日本溶接協会規格WES7302と同一規格）を参考に行うことが望ましい。

2. 土木工事施工管理基準の主な改定内容

- ① 3次元データによる出来形管理に適用する基準書の名称変更・追記。
- ② 施工箇所が点在する工事
国交省の基準書に準拠し、以下を追記。
(3)施工箇所が点在する工事について
施工箇所が点在する工事については、施工箇所毎に測定（試験）基準を設定するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議しなければならない。

3. 出来形管理基準及び規格値の主な改定内容

- ① 国土交通省の改定内容に伴う規格値の改定・追記。
- ② 各種基準書等に準拠し、参考図の改定・追記。
- ③ 3次元データによる出来形管理に適用する基準書の名称変更・追記。

4. 品質管理基準の主な改定内容

- ① 国土交通省の改定内容に伴う規格値の改定・追記
- ② J I S規格の改定に伴う改定
- ③ 各種基準書等に準拠した修正
- ④ 語句の統一及び表現の適正化等

5. 写真管理基準の主な改定内容

- ① 国土交通省の改定内容に伴う規格値の改定・追記
- ② 情報化施工及び3次元データによる施工管理の基準書の名称変更
- ③ 工事書類簡素化ガイドライン改定（令和7年3月）に伴う写真管理基準の見直し

6. 土木工事施工管理の統一事項の主な改定内容

- ① 九州地方整備局「土木工事施工管理の手引き」（令和3年3月）の記載内容に準拠した修正
- ② ウィークリースタンス等
 - ・ 令和7年3月に通知したウィークリースタンス（工事編）から、目的、対象、取組内容等を追加
- ③ 共通仕様書の改定に伴う、文言の修正
- ④ 工事書類簡素化ガイドライン改定（令和7年3月）に伴う、文言の修正